



## 岩永ひさか (夢まち会議)

「生きる力を取り戻す」  
健幸都市を実現するために農業公園を

**問** 厳しい財政環境、人口減少社会にあり、行政主導で進めている農業公園を新設する政策判断が市民に支持され、理解されなければならない。家庭菜園や体験型市民農園の延長線上ではなく、「いのち」に直結する「食」や「農」を通して、健幸都市の実現に向けた構想づくりが必要ではないか。また、全庁で真剣に取り組むべきと考えるが見解を伺う。

**答** SDGsや健幸づくりを意識した構想づくりに取り組み、魅力ある農業公園にしていきたい。また、必要に応じ、健幸まちづくり推進室も関わり、環境部を中心にした取り組みを支援していく。

**問** 「食の未来」を考える時、外国産小麦使用のパン等ではなく、地産地消の観点からも、「完全米飯給食」にすることが必要と考える。今後予定される学校給食センター建て替えの際には炊飯の設備導入の検討もすべきと思うが、見解を伺う。

**答** 今後、検討していきたい。



## いぢち恭子 (ネット・社民の会)

「マイナ保険証」導入にみる共通番号制度とDX戦略の問題点

**問** 来年秋から義務化されるマイナ保険証の利点と欠点を知りたい。

**答** 利点は過去の医療データを共有できることだが、機器やシステムの障害時に利用できないことや、紛失・盗難のリスクが高まるのが欠点と考えられる。

**問** マイナ保険証のない被保険者への対応はあるか。

**答** 保険証と同じ機能を持つ、1年期限の資格確認書を発行する。

**問** マイナカードは5年期限だが、被保険者側が更新しなければならない点は同じ。システムエラー等でカードが使えない場合も含め、無保険状態の市民が増える恐れがある。保険制度が大幅に変わることを、市民によく周知してもらいたい。

**答** 何らかの対策を検討する。なお、東京都の国民健康保険と後期高齢者医療保険に関しては、今年9月に更新時期が来るが、経過措置として2年間有効となること



## 松田だいすけ (自民党)

1. シルバー人材センターと迫るインボイス
2. 木造新耐震住宅の耐震診断補助について

**問** 多摩市のシルバー人材センターが約6.3億円という過去最高の事業実績を記録したその要因を伺う。

**答** 期間限定の公共の業務に加えて、就業開拓員による新規受注にも取り組んだ。

**問** 全国的に会員数が減少しているなか多摩市はトップクラスの伸びだが見解を伺う。

**答** コロナの期間での年会費・保険料の免除に取り組んだことと会員によるクチコミも功を奏している。

**問** インボイス制度導入による持出しが増えるが対策を伺う。

**答** 当面、軽減措置や新規受注への取組み、補助金ランクも上がるため対応できる。

**問** 旧耐震住宅を優先的に取組むということだが、新耐震はどのタイミングで取組むのか伺う。

**答** 住宅マスタープランの改訂時期に合わせて取組む事を考えている。

**問** 改訂まで2年、国と都も自治体へ補助の上乗せをするという。このタイミングが時期ではないか。

**答** タイミングについてはご意見を念頭におき検討する。



## 橋本由美子 (日本共産党)

1. 補聴器購入助成制度の実現を
2. 健康保険証廃止を急がないで
3. 個人情報自衛隊に教えないで

**問** 補聴器購入助成制度の進捗状況を伺いたい。

**答** 近隣自治体の制度の調査、医師会や販売店との相談等行っている。財源の検討も進める必要がある。

**問** マイナンバー法改正で保険証はどうなるのか。

**答** 保険証は廃止され資格確認書になるが、申請忘れ等で「無保険」扱いになることを危惧している。

**問** すでに、介護の現場や医療機関での混乱が生じ、市民からも不安の声がある、どう対応するのか。

**答** 市民が混乱しないよう対応していきたい。国も不安払拭のため手だてを講じるべきと考える。

**問** 3年前の国の通知後、閲覧だけでなく、自衛隊に紙の資料提供も実施しているが市民に知らせているのか。

**答** 閲覧があったときはホームページにのせているが、紙による提供は公表してこなかった。

**問** 高校生や大学生の個人情報を本人が知らないまま自衛隊に提供していることは問題ではないか。

**答** きちんと知らせ、「申請除外」も検討していきたい。

